

複式 音楽科学習指導案

10 / 26 (月) 4限
第2音楽室 笹谷真理子

- 1 題材名 曲の気分を感じ取って表現しよう
- 2 本時のねらい
合奏での各パートの役割を知り、④までの自分の役割を考えながら演奏することができる。
- 3 本時における学ぶ楽しさ
自分のパートの役割を考え、感じながら合奏する楽しさ。

4 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
10	<p>1. 前時のふり返しをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・④まで合奏してみよう ・どうだったかな。 ・メロディーは前より聞こえてきたね。 ・メロディー以外のパートの役割ってなんだろう？ 	
15	<p>2. 合奏でのいろいろな役割を知る</p> <p>＜自分のパートの役割を考え 役割にあった演奏を工夫しよう＞</p> <p>○メロディー以外にはどんな役割があるだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のパートが入ると音が重なってきれいだよ。音の重なり ・メロディーが音を伸ばしているときに、鍵盤ハーモニカや木琴、鉄琴がたくさん入ってくるね。ここは目立つように元気に入ったらいんじゃないかな。合いの手 ・最初の部分で、キーボード1, 2はメロディーと同じリズムで違う音を弾いているね。どんなことに気をつけたらいいかな。メロディーとリズムが合っていないとおかしいよ。合わせて練習しなきゃね。 ・最初の鉄琴や④のキーボード3はメロディーと全然違う旋律を演奏しているね。オブリガード ・バスやキーボード4は低い音で支えている感じだね。 ・パーカッションはリズムで曲を盛り上げているね。リズム ・④からのキーボード1, 3, 4は音が重なって和音のようになっているよ。和声のひびき 	<p>(2)互いの思いを伝え合い、表現の交流をする</p> <p>自分以外のパートの動きを確認したり合奏全体の流れをつかんだりするために、スコアを見ながら実際に音を確認め考えを交流させる。</p> <p>出てきた役割を整理し今後の合奏に生かすために音楽を特徴付けている要素に結びつけたキーワードを提示する</p>
10	<p>3. 自分の役割を考えながら練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メロディーのところはしっかり出そう。キーボード1, 2はメロディーとしっかりリズムをそろえよう。 ・メロディーの合間に入る合いの手のところは、メロディーをつなげるようにていねいに演奏しよう。 ・パーカッションは合奏全体での音量を考えて演奏しよう。 ・最初の鉄琴のオブリガードは鉄琴のソロだから目立つようにしっかり音を出そう。 	<p>(3)成長が自覚できる場を設け、変容を認識させる</p> <p>考えて演奏したことが表現されているか確かめるためにパート内で聞き合って練習させる。</p>
10	<p>4. 合奏し、自分たちの演奏をふり返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の演奏より鍵盤ハーモニカと木琴の合いの手がしっかり入っていたね。 ・メロディーも前の演奏よりはっきり聞こえていたよ。 ・キーボードのリズムもよくなってメロディーと重なってきたよ。 	<p>変容を認識させるために、よくなったところを伝え合う。</p>

メロディー以外のパートにも、合いの手やオブリガードなど大事な役割があったね。自分のパートの役割りを意識して工夫して演奏するとさらに合奏がよくなってくるよ。これからも自分のパートの役割を考え合奏をすすめていきたいな。